

消化器・総合外科に通院中の患者さん・家族さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では以下の臨床研究を実施しております。手術前の説明時に、切除標本の医学研究への使用にご協力を同意していただきました内容に則して適正に実施致します。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] CD200 陽性大腸癌細胞の臨床病理学的意義と免疫機構との関連の検討

[研究機関] 奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科

[研究承認] 当大学の医の倫理審査委員会での審査を経て学長より許可されました。

[研究実施期間] 2026年7月31日までを予定しております。

[研究代表者] 岩佐 陽介（消化器・総合外科）

[利益相反] 本研究に携わるすべての研究者はいかなる利益相反も有していません。

[研究の目的] 本研究は、CD200という細胞の表面にあるタンパク質が、癌細胞においてどのように関与しているかを調べることを目的としています。

[研究の意義]

現在の大腸癌の研究において様々な因子が患者さんの生存に関わると言われていますが、治療対象として用いることができる因子はごく限られているというのが現状です。近年、免疫チェックポイント阻害薬という免疫に関わる薬が開発され、新しい治療として期待されています。CD200も癌の増殖や転移に関わると共に、免疫機構にも影響を及ぼすことが示唆されています。CD200について研究することで、今後の治療に応用できる可能性があります。

[研究の方法] 当科で直腸癌に対して手術を行った患者さん。また、比較対象として、内視鏡的に粘膜切除術（EMR）や粘膜下層剥離術(ESD)で切除を行った大腸腺腫の患者さん

●対象となる患者さん

2000年1月より2015年12月までの間に直腸癌を切除した患者さん

また、比較対象として2013年から2016年に内視鏡で腺腫と診断されEMR、ESDで切除した患者さん

●利用する情報

手術時点での以下の情報に加えて、2021年3月までの当院最終受診日、生存情報を診療録から収集いたします。

- 患者情報：手術時年齢、性別、身長、体重、BMI、既往歴、術前併存疾患、生存期間、無病生存期間、無再発生存期間、再発臓器、再発後治療の有無、種類、死亡原因
- 手術情報：術前画像、切除術式、吻合法、リンパ節郭清度、手術時間、出血量、術後合併症
- 腫瘍情報：腫瘍肉眼型、腫瘍占拠部位、組織型、腫瘍径、臨床的・病理学的壁進達度、浸潤臓器の有無、臨床的・病理学的リンパ節転移、臨床的・病理学的遠隔転移、病理学的浸潤増殖様式、脈管侵襲、簇出、神経侵襲、薬物、放射線の組織学的効果判定、
- 血液検査結果：末梢血WBC数、末梢血リンパ球数、末梢血中血小板数、末梢血Hb値、血清CRP値、血清Alb値、血清AST値、血清ALT値、血清BUN値、血清CRE値、血清TG値、血清Chol値、血清Bil値、血清Na/K/Cl値、血清Ca値、血清Dダイマー値、血清CEA値、血清CA19-9値

[個人情報取り扱い]

カルテから、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報を削除した上で、上述の情

報のみを残したデータを用いて解析します。

[患者様の負担や利益] 本研究による患者さんの負担や利益は生じません。

*上記の研究にカルテ情報等を利用することをご了解いただけない場合や、研究に関する資料閲覧の希望などの問い合わせがありましたら、下記にご連絡ください。なお、ご了承いただけない場合に何らかの不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

奈良県橿原市四条町 840

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 担当医師 岩佐 陽介

電話 0744-22-3051 (内線: 2318) FAX: 0744-24-6866 e-mail: surg-1@naramed-u.ac.jp